

病態制御医学講座／内科学（2）分野
 附属病院／第二内科
 地域高度医療推進講座（寄附講座）

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	中本 安成	平成23年1月—
准教授	濱野 忠則	平成2年6月—平成3年3月、平成9年7月—平成9年8月、平成10年4月—平成11年3月、平成12年4月—平成16年3月、平成16年4月（留学）—平成18年6月、平成18年7月—（平成25年4月—現職）
講師	大谷 昌弘	平成8年4月—平成9年3月、平成14年4月—平成16年9月、平成16年10月（留学）—平成18年9月、平成18年10月—（平成28年4月—現職）
講師	松田 秀岳	平成14年5月—平成15年3月、平成19年6月—平成22年3月、平成24年4月—（平成31年4月—現職）
講師（地域高度医療推進講座）	井川 正道	平成12年5月—平成13年5月、平成15年4月—平成17年3月、平成18年5月—平成25年10月、平成25年11月（留学）—平成27年10月、平成27年11月—（平成30年4月—現職）
助教	大藤 和也	平成15年5月—平成16年3月、平成22年6月—平成23年9月、平成26年4月—平成27年3月、平成28年4月—（平成29年4月—現職）
助教	白藤 法道	平成20年4月—平成22年3月、平成24年4月—（平成30年8月—現職）
助教	内藤 達志	平成20年4月—平成21年3月、平成23年10月—平成24年3月、平成24年4月（国内留学）—平成26年3月、平成26年4月—平成28年3月、平成28年11月—（平成30年4月—現職）
助教	野阪 拓人	平成24年4月—平成25年9月、平成26年5月—平成26年9月、平成29年4月—（平成31年4月—現職）

2. 研究概要

研究概要

当領域では主として、1) 消化器グループ、2) 神経グループによる研究を実施している。

1) 消化器内科グループ

消化器内科グループは、中本教授、平松准教授（光学医療診療部）、大谷講師、松田講師、大藤助教、内藤助教、高橋助教（光学医療診療部）、野阪助教をスタッフとして、消化器内視鏡（上・下部消化管内視鏡、胆膵内視鏡、超音波内視鏡等）、腹部超音波を用いた診断・治療手技を施行し、各種消化器疾患に対し診断・治療を行っている。主な診療項目として1) 食道がん、胃がん、十二指腸腫瘍・大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、2) 食道胃静脈瘤に対する内視鏡的治療、3) ヘリコバクターピロリ胃炎に対する除菌治療、4) カプセル内視鏡・バルーン内視鏡による小腸内視鏡検査・治療、5) 炎症性腸疾患に対する診断・内科的治療、6) 肝がんに対するラジオ波焼灼療法（RFA）・肝動脈化学療法・化学療法、7) B型肝炎、C型肝炎に対する抗ウイルス治療、8) 難治性の肝疾患の診断と治療、9) 胆道がん・膵がんの内視鏡診断と化学療法、10) 超音波内視鏡下穿刺吸引術（EUS-FNA）による診断と治療、11) 胆道結石・膵石、悪性胆道狭窄に対する内視鏡的治療を行っている。

胃癌に対するオーダーメイド医療の一環として、専門外来としての「ピロリ外来」を開設し、三次除菌治療を積極的に行っている。また、手術不能肝細胞癌に対する肝動脈塞栓療法（TAE）と樹状細胞免疫治療の先進医療を目指した臨床試験を開始し、消化器癌に対する新たな治療法の開発に挑戦している。

主な研究テーマは、1) B型肝炎ウイルスの遺伝子変異・増殖因子の検討、2) B型・C型肝炎ウイルス、ならびに肝がんの微小環境の解析、3) マイクロキャピタリイ液体生検技術を用いた循環腫瘍細胞の解析、4) ラジオ波焼灼およびTAE後アジュバント投与による肝がん免疫補助療法に関する臨床研究、5) 非アルコール性脂肪性肝炎の病態解析、6) B型肝炎ウイルス再活性化の病態解析、7) ヘリコバクターピロリ感染による上部消化管疾患の病態解析、8) NSAIDs・抗血栓薬による薬剤性消化管粘膜障害の病態解析、9) カプセル内視鏡の臨床的解析10) EUS-FNAにおける液状検体細胞診の有用性などである。

2) 脳神経内科グループ

脳神経内科グループは、濱野准教授、山村地域医療推進講座講師、井川講師、白藤助教、榎本特命助教をスタッフとして以下の研究テーマに取り組んでいる。1) ミトコンドリア病の代表疾患MELAS、パーキンソン病、ALS、アルツハイマー病患者等におけるエネルギー代謝・酸化ストレスの脳機能イメージング（MRI・PET）（高エネルギー研、および放射線医学総合研究所との共同研究）（井川）、2) 橋本脳症の病態の解明（文部科学省研究班）（松永）、3) Arterial Spin Labelling（ASL）画像の検討による脳血管障害、神経変性疾患等での病変部位の解明（放射線医学教室との共同研究）（井川、北崎、濱野）、4) 細動脈硬化の評価指標に関する研究（厚労省研究班）（山村）、5) 医療ITを用いた神経疾患の地域連携に関する研究（山村）、6) 機械学習による診療支援システムの構築（パナソニック、ケアコムとの共同研究）（山村）、7) 自律神経障害が高度なパーキンソン病発症例の皮膚生検によるリン酸化 α シヌクレインの検出（東京都健康長寿医療センター ブレインバンクとの共同研究）（神澤）、8) アルツハイマー病の発症原因であるタウ蛋白のリン酸化、重合機構の解明、ならびに治療薬の開発（Mayo Clinic Jacksonvilleとの共同研究、文科省研究班）（白藤、浅野、佐々木、山口）。9) 基礎研究で効果の認められた薬剤を用い、認知機能改善の有無、髄液中リン酸化タウなどのバイオマーカーを用いた検討（IRB 2010801）（勝木、上野、濱野）。10) アルツハイマー病、ALS早期診断のための血液中アミロイド β 蛋白、タウ蛋白、TDP43、NFLをはじめとするバイオマーカーの測定（台湾MAGQU社との共同研究）（上野、前田、濱野）、アルツハイマー病早期診断のための血液中アミノ酸分析（白藤、濱野）（新潟大学との共同研究）、11) コイルを用いたマウス虚血モデルを用いたタウ病理所見の進展についての検討（藤田、佐々木）。12) Cerebral amyloid angiopathy related inflammation患者髄液中のアミロイド β 蛋白に対する抗体の検出（白藤）。13) パーキンソン病原因蛋白 α シヌクレインの重合について野生型 α シヌクレインを発現する神経系細胞（3D5）を用いた重合促進因子の検討（Mayo Clinic Jacksonvilleとの共同研究）（榎本）。14) adiponectinと大脳白質病変との相関について検討を行い、血管性認知症の病態解明（藤田）、15) 大脳皮質基底核変性症（CBD）に対するCDP-Cholineの治療効果の判定、ならびにCBDのFDG-PET画像所見の解析（高エネルギー医学研究センターとの共同研究）（濱野）、16) 神経筋疾患の筋MRI所見の検討（林）、17) パーキンソン病患者の非運動障害に関するピンゴ式アンケートを用いた画期的臨床研究（浅野）、18) ALS患者のSPECT画像所見の解明（勝木）、19) 福井県での65歳以上の全住民に対する認知症検診アンケートデータを用いた解析・かかりつけ医に対する研修の成果の解析（福井大学2010167）（上野、濱野）など幅広く研究を行っている。

キーワード

1) 消化器内科グループ

ウイルス性肝炎、肝癌、循環腫瘍細胞、HLA-class II 領域

2) 脳神経内科グループ

橋本脳症、ミトコンドリア病、脳血管障害、ROS、パーキンソン病、ALS、アルツハイマー病、筋MRI

業績年の進捗状況

業績年の進捗状況

1) 消化器内科グループ

基礎研究・臨床研究の成果を米国肝臓学会議 (AASLD)、米国消化器病週 (DDW)、日本消化器病学会、日本肝臓学会などの国内外の学会総会などで発表した。2019年度においては、原著論文として「ヒト肝細胞HBV感染系におけるIFN- γ 制御機構の分子学的検討」、「早期ステージ肝細胞癌におけるHLA class I分子の高発現およびCTLに基づく抗腫瘍免疫応答の証明」、および「難治性小児固形腫瘍患者におけるNCCV-1ペプチドワクチン療法の有効性及び安全性の検討-第I相臨床試験」を報告した。

2) 脳神経内科グループ

ミトコンドリア病、パーキンソン病、ALSにおけるPETを用いた酸化ストレスの脳機能イメージングに初めて成功した。共通のクリティカルパスによる脳卒中の地域連携が推進され、国のモデルケースとして注目されている(山村講師)。ASL画像により脊髄小脳変性症における小脳の血流低下を証明した。また、橋本脳症患者でのMRI画像所見の特徴について論文発表した。また、スタチン、PPAR γ アゴニスト、ドネペジル、クリオキノール、ROCK阻害薬をはじめとする各種薬剤によるタウ蛋白リン酸化、重合抑制効果がタウ細胞モデルを用いた検討により明らかになった。またマウスモデルを用いた検討では脳虚血によりアルツハイマー病タウ病理が進行することが明らかになり、動脈硬化はアルツハイマー病の病理所見自体を加速させる因子であることが判明した。疫学研究では、物盗られ妄想に対し、抑肝散、メマンチンが有効であることを示した。ビタミンB12、葉酸欠乏が高ホモシステイン血症をひきおこし、認知機能障害を悪化させることを示した。さらに、この成果をもとに、ホモシステインがタウの重合を促進することを基礎研究で明らかにし、論文が採択された(白藤)。アミロイド β 蛋白合成ペプチドを用いた研究により、アミロイド β 蛋白の重合をアポEやクラスリンが抑制していることを証明した論文が採択された(遠藤)。名古屋市立大学神経内科 松川教授、佐藤大学院生とのタウ細胞モデルを用いた共同研究も進行している。アディポネクチンと血管性認知症の関係についての論文が採択された(藤田)。

特色等

1) 消化器内科グループ

当科ではB型肝炎ウイルスの遺伝子変異・増殖因子の検討、マイクロキャピティアレ液体生検技術を用いた肝がん再発超早期診断法の開発、昨年度導入した次世代シーケンサーを用いて肝癌の病態解析を行い、消化器癌における炎症発癌の分子機構の解明とその克服を目標に研究を進める予定である。

2) 脳神経内科グループ

脳卒中、アルツハイマー病やパーキンソン病などの神経common diseaseからALS、ミトコンドリア病、大脳皮質基底核変性症をはじめとする神経難病の病態と治療に関して、遺伝子、プロテオミクス、培養細胞を用いた基礎的研究から、PETやMRIを用いた患者の病態解析まで幅広い研究を行っている。また、臨床地域連携の構築などの医療システムに係る研究も行っている。

本学の理念との関係

本学医学部の理念は、国民性、国際性、先進性、倫理性に基づいた医療の具現化と将来性を見通した研究の実行と人材育成である。担当する疾患対象領域は、まさに国民病といえる疾患である消化器癌、脳卒中、認知症、神経難病などを主として取り扱っており、国民の健康の保護と増進の為に診療、研究を行っている。また国内の大学および国外の大学研究所(MIT, Mayo Clinic)との共同研究および人材交流も行っており、研究では世界に先駆け新しい事実を明らかにしている。

これらの研究を通して国際的に通用する先端医療の開発を目指し、さらには国民全体の健康増進に貢献することを目標としている。

3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター (うち原著のみ)	
	2019年分		2019年分	
和文原著論文		6		—
英文論文	ファーストオーサー	11	28.927 (25.357)	
	コレスポンディングオーサー	6	9.193 (9.193)	
	その他	1	3 (3)	
	合計	12	31.927 (28.357)	

(A) 著書・論文等

(1) 英文：論文等

a. 原著論文 (審査有)

1929001

Akazawa Y, Mizuno S, Fujinami N, Suzuki T, Yoshioka Y, Ochiya T, Nakamoto Y, Nakatsura T: Usefulness of serum microRNA as a predictive marker of recurrence and prognosis in biliary tract cancer after radical surgery, *Sci Rep*, 9(1), 5925, 20190411, DOI: 10.1038/s41598-019-42392-7, #4.011

1929002

Enomoto S, Shigemitsu H, Kitazaki Y, Ikawa M, Yamamura O, Hamano T, Tai K, Iwasaki H, Koizumi H, Hasegawa M, Takeda K, Nakamoto Y: Cladophiala bantiana infection mimicking neuromyelitis optica, *J Neurol Sci*, 399, 169-171, 20190415, DOI: 10.1016/j.jns.2018.12.013, #2.651

1929003

Akazawa Y, Nobuoka D, Takahashi M, Yoshikawa T, Shimomura M, Mizuno S, Fujiwara T, Nakamoto Y, Nakatsura T: Higher human lymphocyte antigen class I expression in early-stage cancer cells leads to high sensitivity for cytotoxic T lymphocytes, *Cancer Sci*, 110(6), 1842-1852, 201906, DOI: 10.1111/cas.14022, #4.751

1929004

Tanaka T, Hiramatsu K, Saito Y, Nosaka T, Takahashi K, Naito T, Ofuji K, Matsuda H, Ohtani M, Nemoto T, Suto H, Nakamoto Y: The Usefulness of Video Capsule Endoscopy in Evaluating Gastrointestinal Manifestations of Immunoglobulin A Vasculitis, *Intern Med*, 58(14), 1979-1985, 20190715, DOI: 10.2169/internalmedicine.2097-18, #0.956

1929005

Matsunaga A, Ikawa M, Kawamura Y, Kishitani T, Yamamura O, Hamano T, Kimura H, Nakamoto Y, Yoneda M: Serial brain MRI changes related to autoimmune pathophysiology in Hashimoto encephalopathy with anti-NAE antibodies: A case-series study, *J Neurol Sci*, 406, 116453, 20191115, DOI: 10.1016/j.jns.2019.116453, #2.651

1929006

Akazawa Y, Hosono A, Yoshikawa T, Kaneda H, Nitani C, Hara J, Kinoshita Y, Kohashi K, Manabe A, Fukutani M, Wakabayashi M, Sato A, Shoda K, Shimomura M, Mizuno S, Nakamoto Y, Nakatsura T: Efficacy of the NCCV Cocktail-1 vaccine for refractory pediatric solid tumors: A phase I clinical trial, *Cancer Sci*, 110(12), 3650-3662, 201912, DOI: 10.1111/cas.14206, #4.751

1929007

Hamano T, Mutoh T, Naiki H, Shirafuji N, Ikawa M, Yamamura O, Dickson DW, Aiki S, Kuriyama M, Nakamoto Y: Subventricular glial nodules in neurofibromatosis 1 with craniofacial dysmorphism and occipital meningoencephalocele, *eNeurologicalSci*, 17, 100213, 201912, DOI: https://doi.org/10.1016/j.ensci.2019.100213 (症例報告), #1.19

1929008

Nosaka T, Naito T, Matsuda H, Ohtani M, Hiramatsu K, Nemoto T, Nishizawa T, Okamoto H, Nakamoto Y: Molecular signature of hepatitis B virus regulation by interferon- γ in primary human hepatocytes, *Hepatol Res*, 50(3), 292-302, 202003, DOI: 10.1111/hepr.13450, #3.44

1929009

Kitazaki Y, Ikawa M, Yamaguchi T, Enomoto S, Kishitani T, Shirafuji N, Hayashi K, Yamamura O, Nakamoto Y, Hamano T: Autoimmune Encephalitis Associated with Anti- γ -aminobutyric Acid B Receptor Antibodies Mimicking Syncope: A Case Report, *Intern Med*, 59(6), 843-847, 20200315, DOI: 10.2169/internalmedicine.3652-19 (症例報告), #0.956

1929010

Okazawa H, Ikawa M, Jung M, Maruyama R, Tsujikawa T, Mori T, Rahman MGM, Makino A, Kiyono Y, Kosaka H: Multimodal analysis using [¹¹C]PiB-PET/MRI for functional evaluation of patients with Alzheimer's disease, *EJNMMI Res*, 10(1), 30, 20200330, DOI: 10.1186/s13550-020-00619-z, #3

b. 原著論文 (総説)

1929011

Matsunaga A, Ikawa M, Yoneda M: Hashimoto encephalopathy, *Clin Exp Neuroimmunol*, 10(4), 226-233, 20190919, DOI: 10.1111/cen3.12543

1929012

Ikawa M, Povalko N, Koga Y: Arginine therapy in mitochondrial myopathy, encephalopathy, lactic acidosis, and stroke-like episodes, *Curr Opin Clin Nutr Metab Care*, 23(1), 17-22, 202001, DOI: 10.1097/MCO.0000000000000610, #3.57

c. 国際会議論文

- 1929013** Matsuda H, Hiramatsu K, Nosaka T, Naito T, Ofuji K, Ohtani M, Nemoto T, Nakamoto Y: Genetic Polymorphism and Reduced mRNA Expression of HLA class II DP Genes are Associated with Hepatitis B virus Reactivation in Japanese Patients Treated with Immunomodulatory Agents, APASL Single Topic Conference on Liver Immunology and Genetics, 105, 20190418
- 1929014** Takahashi K, Ofuji K, Hiramatsu K, Nosaka T, Naito T, Matsuda H, Ohtani M, Nemoto T, Nakamoto Y: Sensitive Detection of Circulating Tumor Cells in Patients with Chronic Liver Disease and Hepatocellular Carcinoma Using a Microcavity Array, APASL Single Topic Conference on Liver Immunology and Genetics, 120, 20190418
- 1929015** Ofuji K, Takahashi K, Nosaka T, Naito T, Matsuda H, Ohtani M, Hiramatsu K, Nemoto T, Nakamoto Y: DEVELOPMENT OF A NOVEL CIRCULATING TUMOR CELLS ISOLATION SYSTEM IN PATIENTS WITH PANCREATIC CANCER USING A MICROCAVITY ARRAY, Gastroenterology, 156(6), S-319, 201905, #19.809
- 1929016** Okazawa H, Ikawa M, Tsujikawa T, Kosaka H: Brain PET/MRI for evaluation of neurodegenerative diseases, The 13th Asia Oceania Congress of Nuclear Medicine and Biology, 201905
- 1929017** Ohtani M, Ofuji K, Matsuda H, Nosaka T, Naito T, Hiramatsu K, Nakamoto Y: THE EFFECT OF LIQUID-BASED CYTOLOGY ON EUS-GUIDED SAMPLING OF SOLID MASSES AND LYMPH NODES, GIE, 89(6), AB327, 201906, #7.229
- 1929018** Naito T, Hiramatsu K, Nosaka T, Ofuji K, Matsuda H, Ohtani M, Nemoto T, Nakamoto Y: ENDOSCOPIC FINDINGS OF LATEST CAPSULE ENDOSCOPY PILLCAM SB3 ACCURATELY PREDICTS REBLEEDING OF OGIB, GIE, 89(6), AB334-AB335, 201906, #7.229
- 1929019** Enomoto S, Hamano T, Jiang P, Shirafuji N, Sasaki H, Yamaguchi T, Ueno A, Ikawa M, Yamamura O, Nakamoto Y: Alpha-Synuclein Phosphorylation By Homocysteine, Alzheimer's & Dementia, 15(7), 294, 201907, #14.423
- 1929020** Ueno A, Hamano T, Enomoto S, Shirafuji N, Nagata M, Yamaguchi T, Sasaki H, Kamisawa T, Ikawa M, Yamamura O, Kuriyama M, Nakamoto Y: Vitamin B12 Supplementation Improves Hyperhomocysteinemia and Cognitive Impairment in Patients with Vitamin B12 Deficiency, Alzheimer's & Dementia, 15(7), 586, 201907, #14.423
- 1929021** Ikawa M, Kimura H, Sugimoto K, Tsujikawa T, Hamano T, Yoneda M, Okazawa H, Nakamoto Y: Arterial spin labeling MR imaging for the detection of cerebellar hypoperfusion in patients with spinocerebellar degeneration, J Cereb Blood Flow Metab, 425, 20190702, #6.04
- 1929022** Ikawa M, Okazawa H, Yoneda M: Molecular imaging in mitochondrial disorders, The 16th Conference of Asian Society for Mitochondrial Research and Medicine, 66-67, 201910
- 1929023** Yamaguchi T, Ikawa M, Shirafuji N, Hata I, Yoneda M, Nishino I, Hamano T, Nakamoto Y: A case of carnitine palmitoyltransferase II (CPT II) deficiency diagnosed by first-time rhabdomyolysis at the age of 70, The 16th Conference of Asian Society for Mitochondrial Research and Medicine, 147, 201910
- 1929024** Nemoto T, Nosaka T, Takahashi K, Naito T, Ofuji K, Ohtani M, Hiramatsu K, Nakamoto Y: Usefulness of a Modified FIB-4 Index Using Serum Immunoglobulin A Level in Hepatocellular Carcinoma Screening for Non-Alcoholic Fatty Liver Disease T, JSH International Liver Conference 2019, 130, 20191001
- 1929025** Akazawa Y, Mizuno S, Yoshioka Y, Matsuda H, Hiramatsu K, Ohtani M, Ochiya T, Nakamoto Y: POSSIBILITY OF SERUM microRNAs AS EFFECTIVE PREDICTIVE TOOLS OF RECURRENCE AND PROGNOSIS IN CHOLANGIOCARCINOMA AFTER RADICAL SURGERY, Hepatology, 70(1), 217A, 20191001, #14.971
- 1929026** Matsuda H, Hiramatsu K, Yoshida Y, Nosaka T, Takahashi K, Naito T, Ofuji K, Ohtani M, Nakamoto Y: CLINICAL USEFULNESS OF HIGH-SENSITIVITY HEPATITIS B SURFACE ANTIGEN ASSAYS AND GENOTYPING FOR HLA-DPB1SNP FOR DETECTION OF VIRAL REACTIVATION IN EARLY PHASE OF IMMUNOSUPPRESSIVE TREATMENTS, Hepatology, 70(1), 418A, 20191001, #14.971
- 1929027** Hiramatsu K, Matsuda H, Saito Y, Nosaka T, Takahashi K, Naito T, Ofuji K, Ohtani M, Nakamoto Y: TOLEROGENIC MACROPHAGES AND DENDRITIC CELLS ARE RECRUITED IN MICROENVIRONMENT OF HEPATOCELLULAR CARCINOMA IN NON-CIRRHOTIC PATIENTS WITH HEPATITIS C VIRUS INFECTION, Hepatology, 70(1), 554A, 20191001, #14.971
- 1929028** Nosaka T, Naito T, Takahashi K, Ofuji K, Matsuda H, Ohtani M, Hiramatsu K, Nishizawa T, Okamoto H, Nakamoto Y: MOLECULAR SIGNATURE OF HEPATITIS B VIRUS REGULATION BY INTERFERON-GAMMA IN PRIMARY HUMAN HEPATOCYTE, Hepatology, 70(1), 623A, 20191001, #14.971
- 1929029** Ofuji K, Nosaka T, Takahashi K, Naito T, Matsuda H, Ohtani M, Hiramatsu K, Nakamoto Y: HIGH INCIDENCE OF CHOLESTATIC TYPE IRAE LIVER INJURY CAUSED BY IMMUNE CHECKPOINT INHIBITORS IN JAPANESE PATIENTS WITH ADVANCED SOLID TUMORS, Hepatology, 70(1), 1224A-1225A, 20191001, #14.971
- 1929030** Okumura N, Yamanoi Y, Kato R, Yamamura O: Fall detection and walking estimation using floor vibration for solitary elderly people, IEEE SMC 2019, 1437-1442, 20191128

(2) 和文：著書等

a. 著書（分担執筆）

- 1929031** 山村 修：在宅支援について：地域保健，株式会社東京法規出版，12-16，20190701
- 1929032** 井川 正道，米田 誠：ガス中毒：内科学書 改訂第9 第6巻，中山書店，496-498，20190809
- 1929033** 井川 正道，米田 誠：食中毒，咬傷：内科学書 改訂第9 第6巻，中山書店，505-506，20190809
- 1929034** 大藤 和也，中本 安成：第6章 肝硬変のトピックス 4. 肝臓に対する新規治療薬：肝硬変治療マニュアル：エキスパートのコツとさじ加減，南江堂，20191201
- 1929035** 山村 修：ポリファーマシーを整理するときに役立つ知識 「高齢者施設」：medicina，医学書院，2176-2179，20191210
- 1929036** 濱野 忠則：神経痛：今日の診断指針，第8版，医学書院，622-625，202003

(3) 和文：論文等

a. 原著論文 (審査有)

- 1929037 土井尻 遼介, 斎藤 こずえ, 内山 真一郎, 北川 一夫, 竹川 英宏, 田所 靖啓, 堤 由紀子, 藤代 健太郎, 松本 昌泰, 山村 修, 長東 一行: 脳卒中における細動脈硬化の生理機能的指標の検討, *Neurosonology*, 32(1), 10-14, 20190425
- 1929038 翠 洋平, 平松 活志, 松田 秀岳, 村田 陽介, 吉田 祐未, 田中 知子, 齊藤 恭志, 野阪 拓人, 高橋 和人, 内藤 達志, 大藤 和也, 大谷 昌弘, 根本 朋幸, 今村 好章, 中本 安成: 血管内治療と肝切除術にて長期寛解を得た胆管内発育型肝細胞癌の1例, *肝臓*, 60(6), 189-199, 20190525, DOI: 10.2957/kanzo.60.189
- 1929039 北崎 佑樹, 井川 正道, 佐々木 宏仁, 前田 健一郎, 赤澤 愛弓, 松永 晶子, 山村 修, 有島 英孝, 濱野 忠則, 中本 安成: 髄液中に好酸球が認められた、くも膜下出血を合併した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の1例, *日本内科学会雑誌*, 108(8), 1591-1595, 20190810
- 1929040 遠藤 芳徳, 林 浩嗣, 井川 正道, 山村 修, 大倉 清孝, 濱野 忠則: 持続する嘔気・繰り返す失神で発症した視神経脊髄炎関連疾患 (neuromyelitis optica spectrum disorder) の1例, *臨床神経学*, 60(2), 142-145, 20200119, DOI: 10.5692/clinicalneuro.60-001345
- 1929041 中本 安成: 免疫チェックポイント阻害薬と分子標的薬による肝障害, *肝臓*, 61(3), 92, 20200301, DOI: <https://doi.org/10.2957/kanzo.61.92>
- 1929042 大藤 和也, 野阪 拓人, 中本 安成: 免疫チェックポイント阻害薬による肝障害ーリスク因子ー, *肝臓*, 61(3), 95-96, 20200301

b. 総説

- 1929043 井川 正道, 米田 誠: 第3章ミトコンドリア疾患の診断技術と治療戦略 II. バイオマーカーの同定と診断技術 「5. 脳神経疾患のPET酸化ストレスイメージング」, *実験医学増刊*, 37(12), 2060-2066, 20190719
- 1929044 大藤 和也, 根本 朋幸, 中本 安成: 自己免疫性肝炎の発症機序 (遺伝要因・環境要因, 免疫バランス破綻), *日本臨牀*, 78(1), 58-64, 20200101

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. シンポジスト・パネリスト等

- 1929045 Okazawa H, Ikawa M, Tsujikawa T, Kosaka H: Brain PET/MRI for evaluation of neurodegenerative diseases. The 13th Asia Oceania Congress of Nuclear Medicine and Biology, Cognitive Impairment Symposium, Shanghai(China), 20190509
- 1929046 Ikawa M, Okazawa H, Yoneda M: Molecular imaging in mitochondrial disorders, ASMRM 2019, 福岡, 20191004

b. 一般講演 (口演)

- 1929047 Matsuda H, Hiramatsu K, Nosaka T, Naito T, Ofuji K, Ohtani M, Nemoto T, Nakamoto Y: Genetic Polymorphism and Reduced mRNA Expression of HLA class II DP Genes are Associated with Hepatitis B virus Reactivation in Japanese Patients Treated with Immunomodulatory Agents, The Asian Pacific Association for the Study of the Liver Single Topic Conference on Liver Immunology and Genetics (APASL STC 2019), 東京, 20190419

c. 一般講演 (ポスター)

- 1929048 Takahashi K, Ofuji K, Hiramatsu K, Nosaka T, Naito T, Matsuda H, Ohtani M, Nemoto T, Nakamoto Y: Sensitive Detection of Circulating Tumor Cells in Patients with Chronic Liver Disease and Hepatocellular Carcinoma Using a Microcavity Array, The Asian Pacific Association for the Study of the Liver Single Topic Conference on Liver Immunology and Genetics (APASL STC 2019), 東京, 20190418
- 1929049 Ofuji K, Takahashi K, Nosaka T, Naito T, Matsuda H, Ohtani M, Hiramatsu K, Nemoto T, Nakamoto Y: DEVELOPMENT OF A NOVEL CIRCULATING TUMOR CELLS ISOLATION SYSTEM IN PATIENTS WITH PANCREATIC CANCER USING A MICROCAVITY ARRAY, DDW 2019, San Diego(USA), 20190518
- 1929050 Ohtani M, Ofuji K, Matsuda H, Nosaka T, Naito T, Hiramatsu K, Nakamoto Y: THE EFFECT OF LIQUID-BASED CYTOLOGY ON EUS-GUIDED SAMPLING OF SOLID MASSES AND LYMPH NODES, DDW 2019, San Diego(USA), 20190519
- 1929051 Naito T, Hiramatsu K, Nosaka T, Ofuji K, Matsuda H, Ohtani M, Nemoto T, Nakamoto Y: ENDOSCOPIC FINDINGS OF LATEST CAPSULE ENDOSCOPY PILLCAM SB3 ACCURATELY PREDICTS REBLEEDING OF OGIB, DDW 2019, San Diego(USA), 20190519
- 1929052 Ikawa M, Kimura H, Sugimoto K, Tsujikawa T, Hamano T, Yoneda M, Okazawa H, Nakamoto Y: Arterial spin labeling MR imaging for the detection of cerebellar hypoperfusion in patients with spinocerebellar degeneration, BRAIN & BRAIN PET 2019, 横浜, 20190707
- 1929053 Enomoto S, Hamano T, Jiang P, Shirafuji N, Sasaki H, Yamaguchi T, Ueno A, Ikawa M, Yamamura O, Nakamoto Y: Alpha-Synuclein Phosphorylation By Homocysteine, AAIC 2019, Los Angeles(USA), 20190714
- 1929054 Ueno A, Hamano T, Enomoto S, Shirafuji N, Nagata M, Yamaguchi T, Sasaki H, Kamisawa T, Ikawa M, Yamamura O, Kuriyama M, Nakamoto Y: Vitamin B12 Supplementation Improves Hyperhomocysteinemia and Cognitive Impairment in Patients with Vitamin B12 Deficiency, AAIC 2019, Los Angeles(USA), 20190715
- 1929055 Nemoto T, Nosaka T, Takahashi K, Naito T, Ofuji K, Ohtani M, Hiramatsu K, Nakamoto Y: Usefulness of a Modified FIB-4 Index Using Serum Immunoglobulin A Level in Hepatocellular Carcinoma Screening for Non-Alcoholic Fatty Liver Disease T, JSH International Liver Conference 2019, 大阪, 20191002
- 1929056 Yamaguchi T, Ikawa M, Shirafuji N, Hata I, Yoneda M, Nishino I, Hamano T, Nakamoto Y: A case of carnitine palmitoyltransferase II (CPT II) deficiency diagnosed by first-time rhabdomyolysis at the age of 70, ASMRM 2019, 福岡, 20191004
- 1929057 Akazawa Y, Mizuno S, Yoshioka Y, Matsuda H, Hiramatsu K, Ohtani M, Ochiya T, Nakamoto Y, Nakatsura T: POSSIBILITY OF SERUM microRNAs AS EFFECTIVE PREDICTIVE TOOLS OF RECURRENCE AND PROGNOSIS IN CHOLANGIOCARCINOMA AFTER RADICAL SURGERY, AASLD THE LIVER MEETING2019, Boston(USA), 20191108
- 1929058 Matsuda H, Hiramatsu K, Yoshida Y, Nosaka T, Takahashi K, Naito T, Ofuji K, Ohtani M, Nakamoto Y: CLINICAL USEFULNESS OF HIGH-SENSITIVITY HEPATITIS B SURFACE ANTIGEN ASSAYS AND GENOTYPING FOR HLA-DPB1SNP FOR DETECTION OF VIRAL REACTIVATION IN EARLY PHASE OF IMMUNOSUPPRESSIVE TREATMENTS, AASLD THE LIVER MEETING2019, Boston(USA), 20191108
- 1929059 Hiramatsu K, Matsuda H, Saito Y, Nosaka T, Takahashi K, Naito T, Ofuji K, Ohtani M, Nakamoto Y: TOLEROGENIC MACROPHAGES AND DENDRITIC CELLS ARE RECRUITED IN MICROENVIRONMENT OF HEPATOCELLULAR CARCINOMA IN NON-CIRRHOTIC PATIENTS WITH HEPATITIS C VIRUS INFECTION, AASLD THE LIVER MEETING2019, Boston(USA), 20191109
- 1929060 Nosaka T, Naito T, Takahashi K, Ofuji K, Matsuda H, Ohtani M, Hiramatsu K, Nishizawa T, Okamoto H, Nakamoto Y: MOLECULAR SIGNATURE OF HEPATITIS B VIRUS REGULATION BY INTERFERON-GAMMA IN PRIMARY HUMAN HEPATOCYTE, AASLD THE LIVER MEETING2019, Boston(USA), 20191109
- 1929061 Ofuji K, Nosaka T, Takahashi K, Naito T, Matsuda H, Ohtani M, Hiramatsu K, Nakamoto Y: HIGH INCIDENCE OF CHOLESTATIC TYPE IRAE LIVER INJURY CAUSED BY IMMUNE CHECKPOINT INHIBITORS IN JAPANESE PATIENTS WITH ADVANCED SOLID TUMORS, AASLD THE LIVER MEETING2019, Boston(USA), 20191111

(2) 国内学会 (全国レベル)

a. 招待・特別講演等

1929062 中本 安成: 消化器診療におけるAIの応用とその将来, 第27回日本消化器関連学会週間(JDDW2019), 神戸, 20191124

b. シンポジスト・パネリスト等

1929063 平松 活志, 松田 秀岳, 中本 安成: FFPE標本を用いた肝癌におけるHLA-classII分子の検討—次世代シーケンサーによる網羅的発現解析と蛍光多重免疫染色による発現細胞のフェノタイプ解析, 第105回日本消化器病学会総会, 消化器疾患におけるPrecision medicineへの対応, 金沢, 20190509

1929064 内藤 達志, 平松 活志, 中本 安成: PillCamSB3への変更がOGIBの診断および治療アルゴリズムに与えた影響の検討, 第105回日本消化器病学会総会, 小腸疾患診療の現状と今後の展望, 金沢, 20190510

1929065 野阪 拓人, 内藤 達志, 中本 安成: HBV感染系を用いた自然・獲得免疫によるcccDNA制御シグナルの検討, 第105回日本消化器病学会総会, B型肝炎の根治を目指した臨床及び創薬研究最前線, 金沢, 20190510

1929066 野阪 拓人, 向田 直史, 中本 安成: 肝がん肺転移を制御するマクロファージの病態解明と標的治療の可能性, 第105回日本消化器病学会総会, 消化器領域における免疫療法の開発と未来, 金沢, 20190511

1929067 山村 修: 災害医療の実践: 避難所で出会う神経疾患の患者像, 第60回日本神経学会学術大会, 水の都から臨床神経学の大海原を目指して, 大阪, 20190524

1929068 野阪 拓人, 内藤 達志, 中本 安成: HBV感染系におけるcccDNA排除をめざした自然・獲得免疫シグナルの検討, 第55回日本肝臓学会総会, 新たなB型肝炎治療薬: 創薬の現況, 東京, 20190530

1929069 大藤 和也, 野阪 拓人, 中本 安成: 免疫チェックポイント阻害剤による肝障害の臨床的特徴の検討, 第55回日本肝臓学会総会, 分子標的薬と免疫チェックポイント阻害薬による肝障害, 東京, 20190530

1929070 松田 秀岳, 吉田 祐未, 中本 安成: B型肝炎再活性化対策を含めた高感度HBs抗原定量法の実臨床応用に関する検討, 第55回日本肝臓学会総会, B型肝炎の再活性化: 現状と撲滅に向けた対策, 東京, 20190531

1929071 松田 秀岳, 野阪 拓人, 中本 安成: H. pylori既感染症例における胃炎京都分類の適用についての臨床的検討, 第97回日本消化器内視鏡学会総会, 胃炎の京都分類の新展開, 東京, 20190531

1929072 山村 修: 災害医療における血管超音波検査の役割, 第38回日本脳神経超音波学会総会, 必要とされる脳神経超音波, 奈良, 20190607

1929073 須藤 弘之, 大谷 昌弘, 中本 安成: 当院におけるPCABを使用したH. pylori三次除菌治療の検討, 第25回日本ヘリコバクター学会学術集会, H. pylori 完全除菌を目指すための課題と対策, 名古屋, 20190621

1929074 根本 朋幸, 野阪 拓人, 内藤 達志, 大藤 和也, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 平松 活志, 中本 安成: 非B非C肝癌スクリーニングにおける血清IgAの有用性の検討, 第55回日本肝癌研究会, 非B非C肝癌スクリーニング, 東京, 20190704

1929075 赤澤 悠, 大谷 昌弘, 野阪 拓人, 高橋 和人, 内藤 達志, 大藤 和也, 松田 秀岳, 平松 活志, 中本 安成: 1型自己免疫性膵炎における治療後の再燃予測因子の検討, 第56回日本消化器免疫学会総会, IgG4 関連消化器疾患—病態解明はどこまで進んだのか?, 京都, 20190801

1929076 井川 正道: 酸化ストレスのPETイメージング, 日本核医学会PET核医学分科会, 福島, 20190824

1929077 平松 活志, 松田 秀岳, 中本 安成: FFPE組織を用いたtargeted mRNA発現解析と蛍光多重免疫染色による, 肝癌免疫微小環境の解析, 第23回日本肝臓学会大会(JDDW2019), 肝臓病理の臨床への貢献と次世代への飛躍を目指して, 神戸, 20191121

1929078 大藤 和也, 野阪 拓人, 中本 安成: 免疫チェックポイント阻害剤による肝障害の検討, 第61回日本消化器病学会大会(JDDW2019), 薬物性肝障害: 臨床・研究のUp to Date, 神戸, 20191121

1929079 中本 安成: 人工知能(AI)と内視鏡診断の可能性, 第61回日本消化器病学会大会(JDDW2019), 人工知能(AI)と内視鏡診断の可能性, 神戸, 20191122

1929080 野阪 拓人, 内藤 達志, 中本 安成: HBV感染系におけるcccDNA排除をめざしたIFN α /IFN γ シグナルの検討, 第23回日本肝臓学会大会(JDDW2019), B型肝炎診療: 未来への展望を踏まえた現在の在り方, 神戸, 20191122

1929081 Naito T, Hiramatsu K, Nakamoto Y: Current capsule endoscopy Pillcam SB3 accurately predicts rebleeding of OGIB, 第27回日本消化器関連学会週間(JDDW2019), カプセル内視鏡診療の現状評価と近未来像, 神戸, 20191123

1929082 松田 秀岳, 齊藤 恭志, 野阪 拓人, 高橋 和人, 内藤 達志, 大藤 和也, 大谷 昌弘, 平松 活志, 中本 安成: 高齢者の消化管出血の最近の傾向と対策, 第16回日本消化管学会総会学術集会(GI Week), 姫路, 20200207

1929083 内藤 達志, 平松 活志, 野阪 拓人, 高橋 和人, 大藤 和也, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 根本 朋幸, 中本 安成: カプセル内視鏡の進歩に伴うOGIBの再出血予測に関する検討, 第13回日本カプセル内視鏡学会学術集会(GI Week), 小腸カプセル内視鏡の未来, 姫路, 20200209

c. 一般講演(口演)

1929084 中本 安成: B型肝炎の移り変わりりと諸問題, 第30回日本医学会総会2019中部, 名古屋, 20190427

1929085 齊藤 恭志, 松田 秀岳, 野阪 拓人, 内藤 達志, 大藤 和也, 大谷 昌弘, 平松 活志, 根本 朋幸, 中本 安成: 上部消化管出血時の重症度に関する背景因子の後方視的検討, 第116回日本内科学会総会・講演会, 名古屋, 20190428

1929086 大谷 昌弘, 大藤 和也, 吉田 祐未, 野阪 拓人, 内藤 達志, 松田 秀岳, 平松 活志, 根本 朋幸, 中本 安成: EUS-FNAにおける液状化検体細胞診の有用性の検討, 第105回日本消化器病学会総会, 金沢, 20190509

1929087 加藤 卓浩, 飯野 志郎, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 廣野 靖夫, 根本 朋幸, 中本 安成, 今村 好章: 食道悪性黒色腫のニボルマブ投与中に生じた肝転移に肝動脈化学塞栓療法とラジオ波焼灼療法が奏効した1例, 第35回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 神戸, 20190524

業績一覧

- 1929088** 前田 文江, 根本 朋幸, 橋本 儀一, 大竹 由香, 古木 裕美子, 齋藤 清隆, 井村 敏雄, 浜田 敏彦, 中本 安成, 木村 秀樹: 当院における肝臓リンパ腫の検討, 第92回日本超音波医学会学術集会, 東京, 20190524
- 1929089** 平松 活志, 松田 秀岳, 中本 安成: 肝臓FFPE組織を用いたRNA-SeqによるHLA分子のmRNA発現解析とシーケンスデータのバリエーション解析, 第55回日本肝臓学会総会, 東京, 20190530
- 1929090** 田中 知子, 村田 陽介, 野阪 拓人, 高橋 和人, 内藤 達志, 大藤 和也, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 平松 活志, 根本 朋幸, 中本 安成: EOB-MRI肝細胞相で低信号を示す乏血性結節の多血化に関与する因子の検討, 第55回日本肝臓学会総会, 東京, 20190530
- 1929091** 平松 活志, 内藤 達志, 中本 安成, 野阪 拓人, 大藤 和也, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 根本 朋幸: スプレー凝固を使用したJet B-knifeによる大腸ESDの治療成績, 第97回日本消化器内視鏡学会総会, 東京, 20190602
- 1929092** 上杉 沙織, 尾山 徳孝, 小泉 遼, 平松 活志, 中本 安成, 長谷川 稔: TNF- α 阻害薬投与中に生じたBazin硬結性紅斑の1例, 第118回日本皮膚科学会総会, 名古屋, 20190606
- 1929093** 山村 修: 巨大災害は被災地の脳血管障害死者数の増加に影響する, 第6回日本心血管脳卒中学会学術集会, 心脳血管病への挑戦: 新たなステージへ, 東京, 20190629
- 1929094** 野阪 拓人, 松田 秀岳, 村田 陽介, 翠 洋平, 内藤 達志, 大藤 和也, 大谷 昌弘, 平松 活志, 根本 朋幸, 中本 安成: 脈管侵襲を伴う肝細胞癌に対する1次治療法選択に有効なスコアリングの選定と治療戦略, 第55回日本肝臓学会総会, 東京, 20190704
- 1929095** 山本 有紗, 平松 活志, 翠 洋平, 齊藤 恭志, 田中 知子, 野阪 拓人, 内藤 達志, 大藤 和也, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 根本 朋幸, 中本 安成: 全身性強皮症を背景とし肝結節性再生性過形成様病変を伴った特発性門脈圧亢進症の1例, 第55回日本肝臓学会総会, 東京, 20190705
- 1929096** 平松 活志, 野阪 拓人, 齊藤 恭志, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 中本 安成: HCV関連肝臓組織を用いたtargeted RNA-Seqと蛍光多重免疫染色によるHLA分子の解析, 第29回抗ウイルス療法学会学術集会・総会, 東京, 20190720
- 1929097** Akazawa Y, Nobuoka D, Takahashi M, Yoshikawa T, Shimomura M, Mizuno S, Nakamoto Y, Nakatsura T: The higher expression of HLA class I in cancer cells at early stage lead to high sensitivity for cytotoxic T lymphocytes, 第78回日本癌学会学術総会, 京都, 20190926
- 1929098** 坂井 健二, 三條 伸夫, 村井 弘之, 岩崎 靖, 濱野 忠則, 本間 真理, 中村 好一, 原田 雅史, 水澤 英洋, 山田 正仁: Extension patterns of hyperintensity on diffusion-weighted MR images in dura mater graft-associated CJD, 第24回日本神経感染症学会総会・学術大会, 東京, 20191011
- 1929099** 榎本 崇一, 山口 智久, 井川 正道, 伊藤 和美, 前田 健一郎, 白藤 法道, 上野 亜佐子, 山村 修, 稲井 邦博, 濱野 忠則: 多発脳梗塞の精査中に肝出血で死亡し、剖検で診断に至った結節性多発動脈炎の一例, 第22回日本栓子検出と治療学会, 岩手, 20191018
- 1929100** 佐々木 宏仁, 上野 亜佐子, 白藤 法道, 榎本 崇一, 井川 正道, 山村 修, 濱野 忠則: 皮疹がなく診断に苦慮した zoster sine herpete による脊髄炎の2例, 第37回日本神経治療学会学術集会, 横浜, 20191105
- 1929101** 前田 健一郎, 上野 亜佐子, 榎本 崇一, 白藤 法道, 井川 正道, 山村 修, 荒井 大志, 菊田 健一郎, 濱野 忠則: 抗生剤が奏効したが、急激な脳浮腫の進行を認めたリステリア髄膜炎の1例, 第37回日本神経治療学会学術集会, 横浜, 20191105
- 1929102** 北崎 佑樹, 井川 正道, 榎本 崇一, 山田 真輔, 白藤 法道, 林 浩嗣, 山村 修, 有島 英孝, 法木 左近, 濱野 忠則: 脳生検と3度のNested-PCR 検査でも診断確定に至らなかった結核性髄膜炎の剖検例, 第37回日本神経治療学会学術集会, 横浜, 20191105
- 1929103** 勝木 歩, 佐々木 宏仁, 山口 智久, 榎本 崇一, 白藤 法道, 上野 亜佐子, 井川 正道, 山村 修, 濱野 忠則: 筋萎縮性側索硬化症の脳血流パターン, 第37回日本神経治療学会学術集会, 横浜, 20191107
- 1929104** 内藤 達志, 平松 活志, 並川 正一, 山本 有紗, 村田 陽介, 赤澤 悠, 野阪 拓人, 高橋 和人, 大藤 和也, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 中本 安成: II型腸管症関連T細胞リンパ腫の診断における小腸内視鏡の役割, 第57回日本小腸学会学術集会, 東京, 20191109
- 1929105** 山村 修: 在宅避難者の健康問題, 第5回避難所・避難生活学会、第6回新潟県中越地震シンポジウム合同開催, ~人を守り抜く避難所・避難生活を~ 次なる災害に備え災害関連死・関連疾患ゼロをめざして, 松戸, 20191206
- d. 一般講演 (ポスター)**
- 1929106** 齊藤 恭志, 松田 秀岳, 野阪 拓人, 内藤 達志, 大藤 和也, 大谷 昌弘, 平松 活志, 根本 朋幸, 中本 安成: 高齢者においてPPI常用は上部消化管出血時の重症度を軽減しうる, 第105回日本消化器病学会総会, 金沢, 20190509
- 1929107** 根本 朋幸, 大谷 昌弘, 村田 陽介, 野阪 拓人, 内藤 達志, 大藤 和也, 松田 秀岳, 平松 活志, 中本 安成: 80歳以上の高齢者肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法の検討, 第105回日本消化器病学会総会, 金沢, 20190509
- 1929108** 井川 正道, 山口 智久, 上野 亜佐子, 山村 修, 辻川 哲也, 濱野 忠則, 米田 誠, 岡沢 秀彦, 木村 浩彦: パーキンソン病患者における線条体DAT集積に関連する脳血流変化: MRI-ASLによる検討, 第60回日本神経学会学術大会, 大阪, 20190522
- 1929109** 前田 健一郎, 上野 亜佐子, 北崎 佑樹, 山口 智久, 遠藤 芳徳, 榎本 崇一, 白藤 法道, 井川 正道, 山村 修, 濱野 忠則: 当科で診断に至った造血管腫瘍の臨床的特徴の検討, 第60回日本神経学会学術大会, 大阪, 20190522
- 1929110** Enomoto S, Maeda K, Yamaguchi T, Endo Y, Shirafuji N, Ueno A, Ikawa M, Yamamura O, Hamano T: Does homocysteine promote alpha-synuclein phosphorylation?, 第60回日本神経学会学術大会, 大阪, 20190522
- 1929111** Ueno A, Hamano T, Ito T, Ikebata Y, Nagata M, Matsubara R, Enomoto S, Shirafuji N, Ikawa M, Yamamura O: Training course of dementia for the general practitioner and internists in Fukui prefecture, 第60回日本神経学会学術大会, 大阪, 20190523
- 1929112** 山口 智久, 井川 正道, 前田 健一郎, 榎本 崇一, 白藤 法道, 上野 亜佐子, 山村 修, 濱野 忠則, 中本 安成: 当院で経験した辺縁系脳炎21症例の比較検討, 第60回日本神経学会学術大会, 大阪, 20190524
- 1929113** Hamano T, Shirafuji N, Enomoto S, Sasaki H, Ueno A, Yen SH, Kanaan NM, Ikawa M, Yamamura O, Kuriyama M, Nakamoto Y: Autophagy upregulation and tau oligomer, 第60回日本神経学会学術大会, 大阪, 20190524

業績一覧

- 1929114 白藤 法道, 濱野 忠則, Yen SH, 前田 健一郎, 北崎 佑樹, 山口 智久, 榎本 崇一, 上野 亜佐子, 井川 正道, 山村 修, 中本 安成: 自己免疫性脳炎患者における髄液中タウ蛋白, 第60回日本神経学会学術大会, 大阪, 20190525
- 1929115 Sasaki H, Shirafuji N, Yen SH, Kanaan NM, Ikawa M, Hayashi K, Yamamura O, Kuriyama M, Hamano T: Donepezil reduces oligomeric tau, 第60回日本神経学会学術大会, 大阪, 20190525
- 1929116 上杉 沙織, 尾山 徳孝, 小泉 遼, 平松 活志, 中本 安成, 長谷川 稔: TNF- α 阻害薬投与中に生じたBazin硬結性紅斑の1例, 第118回日本皮膚科学会総会, 名古屋, 201906
- 1929117 Nosaka T, Naito T, Takahashi K, Ofuji K, Matsuda H, Ohtani M, Hiramatsu K, Nakamoto Y: Investigation of intrahepatic acquired immune signal involved in regulation of HBV cccDNA, 第78回日本癌学会学術総会, 京都, 20190926
- 1929118 濱野 忠則, 白藤 法道, 佐々木 宏仁, 榎本 崇一, 山口 智久, 吉田 裕孝, Kanaan NM, 藤田 裕之, 上野 亜佐子, 井川 正道, 中本 安成: Autophagy upregulation and tau oligomer, 第38回日本認知症学会学術集会, 東京, 20191107
- 1929119 上野 亜佐子, 井川 正道, 佐々木 宏仁, 山口 智久, 榎本 崇一, 白藤 法道, 山村 修, 濱野 忠則: ドネペジルの急な中止により離脱症状を生じた症例の検討, 第38回日本認知症学会学術集会, 東京, 20191107
- 1929120 榎本 崇一, 井川 正道, 浅野 礼, 北崎 佑樹, 白藤 法道, 山村 修, 濱野 忠則, 竹田 公信, 小泉 遼, 長谷川 稔: 脊髄炎で初発したCladophialophora bantiana による中枢神経膿瘍の本邦例, 第37回日本神経治療学会学術集会, 横浜, 20191107
- 1929121 松田 秀岳, 高橋 和人, 吉田 祐未, 野阪 拓人, 内藤 達志, 大藤 和也, 大谷 昌弘, 平松 活志, 須藤 弘之, 中本 安成: 早期食道癌に対する内視鏡治療の安全性と治療成績の解析, 第61回日本消化器病学会大会 (JDDW2019), 神戸, 20191122
- 1929122 Takahashi K, Ofuji K, Hiramatsu K, Nosaka T, Naito T, Matsuda H, Ohtani M, Nemoto T, Nakamoto Y: Clinical implication of circulating tumor cells in patients with hepatocellular carcinoma using a microcavity array, 第27回日本消化器関連学会週間 (JDDW2019), 神戸, 20191122
- 1929123 大谷 昌弘, 大藤 和也, 野阪 拓人, 高橋 和人, 内藤 達志, 松田 秀岳, 平松 活志, 中本 安成: 高齢膵臓癌患者における膵癌の発症と検査間隔の検討, 第61回日本消化器病学会大会 (JDDW2019), 神戸, 20191123
- e. その他
- 1929124 高橋 和人, 大藤 和也, 野阪 拓人, 内藤 達志, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 平松 活志, 根本 朋幸, 中本 安成: 循環腫瘍細胞を用いた肝癌の非侵襲的分子病態解析, 第105回日本消化器病学会総会, 金沢, 20190509
- 1929125 山本 有紗, 他、優秀演題受賞者4名, 第105回日本消化器病学会総会, キャリア支援委員会特別企画 第2回若手優秀演題カンファレンス—症例に学ぶ, 金沢, 20190510
- 1929126 中本 安成, 高橋 和人: 肝細胞癌患者の循環腫瘍細胞に対するリキットバイオプシー, 第39回アルコール医学生物学研究会学術集会, 東京, 20200125

(3) 国内学会 (地方レベル)

a. シンポジスト・パネリスト等

- 1929127 大藤 和也, 大谷 昌弘, 松田 秀岳, 平松 活志, 中本 安成: 術後再建腸管における胆膵内視鏡関連手術処置成績の検討, 第113回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会, 富山, 20190623
- 1929128 田中 知子, 村田 陽介, 中本 安成: EOB-MRI 肝細胞相で低信号を示す乏血性結節の多血化予測の検討, 第43回日本肝臓学会西部会, 肝癌診療の現状と展開, 下関, 20191212
- 1929129 村田 陽介, 松田 秀岳, 中本 安成: 慢性肝疾患を背景とした門脈血栓症に対するダナパロイドナトリウムの治療効果に関する臨床的検討, 第43回日本肝臓学会西部会, 肝硬変症に対する薬物治療の進歩, 下関, 20191212
- 1929130 根本 朋幸, 野阪 拓人, 中本 安成: 血清 IgA を用いた NAFLD における肝癌高リスク群の囲い込みの検討, 第43回日本肝臓学会西部会, NASHとASH, その診断と治療への対応, 下関, 20191213
- 1929131 高橋 和人, 大藤 和也, 中本 安成: 食道静脈瘤内視鏡治療後の再治療と生命予後に関する検討, 第43回日本肝臓学会西部会, 門脈圧亢進症に対する内視鏡治療とIVR治療, 下関, 20191213

b. 一般講演 (口演)

- 1929132 山本 有紗, 大谷 昌弘, 並川 正一, 村田 陽介, 赤澤 悠, 野阪 拓人, 高橋 和人, 内藤 達志, 大藤 和也, 松田 秀岳, 平松 活志, 村上 真, 五井 孝憲, 中本 安成: 内科的治療を行い待機手術へ移行しえた膵管内乳頭粘液性腺癌破裂の1例, 第128回日本消化器病学会北陸支部例会, 富山, 20190609
- 1929133 木村 剛徳, 内藤 達志, 並川 正一, 山本 有紗, 村田 陽介, 赤澤 悠, 野阪 拓人, 高橋 和人, 大藤 和也, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 平松 活志, 中本 安成: 2型自己免疫性膵炎と原発性硬化性胆管炎を合併した20歳代潰瘍性大腸炎の1例, 第128回日本消化器病学会北陸支部例会, 富山, 20190609
- 1929134 佐々木 宏仁, 上野 亜佐子, 白藤 法道, 井川 正道, 山村 修, 濱野 忠則: 皮疹がなく脊髄梗塞との鑑別を要したzoster sine herpetelによる脊髄炎の1例, 第154回日本神経学会東海北陸地方会, 名古屋, 20190615
- 1929135 浅野 礼, 井川 正道, 白藤 法道, 上野 亜佐子, 山村 修, 濱野 忠則, 呉林 秀崇, 五井 孝憲, 小池 春樹, 勝野 雅央: 術後に両下肢脱力をきたしステロイドが著効したpost-surgical inflammatory neuropathyの1例, 第154回日本神経学会東海北陸地方会, 名古屋, 20190615
- 1929136 久保 陽香, 松田 秀岳, 吉田 祐未, 大谷 昌弘, 平松 活志, 中本 安成, 北野 史浩, 稲井 邦博, 内木 宏延: Pulmonary tumor thrombotic microangiopathy (PTTM) により急激な経過をたどった胃癌の1剖検例, 第238回日本内科学会北陸地方会, 福井, 20190616
- 1929137 翠 洋平, 平松 活志, 並川 正一, 山本 有紗, 村田 陽介, 赤澤 悠, 野阪 拓人, 高橋 和人, 内藤 達志, 大藤 和也, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 中本 安成: 慢性腎盂腎炎が原因と考えられた消化管AA型アミロイドーシスの1例, 第113回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会, 富山, 20190623

業績一覧

- 1929138** 眞柄 里衣, 白藤 法道, 上野 亜佐子, 井川 正道, 山村 修, 濱野 忠則, 中本 安成: 左三叉神経障害で発症し, 橋, 第一頸髄に病変を呈した zoster sine herpette の1例, 第239回日本内科学会北陸地方会, 金沢, 20190901
- 1929139** 山口 智久, 井川 正道, 白藤 法道, 上野 亜佐子, 濱野 忠則, 伊藤 和美, 稲井 邦博: 脳梗塞, 肝出血をきたし, 剖検で結節性多発動脈炎と診断された一例, 第155回日本神経学会東海北陸地方会, 金沢, 20191026
- 1929140** 並川 正一, 野阪 拓人, 翠 洋平, 山本 有紗, 赤澤 悠, 田中 知子, 高橋 和人, 内藤 達志, 大藤 和也, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 平松 活志, 今村 好章, 中本 安成: 高CEA、AFP血症を伴う胆管癌成分優位な混合型肝癌と診断し治療が奏功した1例, 第129回日本消化器病学会北陸支部例会, 金沢, 20191117
- 1929141** 山下 順貴, 大藤 和也, 並川 正一, 山本 有紗, 赤澤 悠, 田中 知子, 野阪 拓人, 内藤 達志, 高橋 和人, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 平松 活志, 中本 安成: 脾に随外腫瘍を形成した多発性骨髄腫の1例, 第129回日本消化器病学会北陸支部例会, 金沢, 20191117
- 1929142** 眞柄 里衣, 松田 秀岳, 並川 正一, 山本 有紗, 赤澤 悠, 田中 知子, 野阪 拓人, 高橋 和人, 内藤 達志, 大藤 和也, 大谷 昌弘, 平松 活志, 中本 安成: 結腸顆粒細胞腫の切除後3年で発症した多発食道顆粒細胞腫の1例, 第114回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会, 金沢, 20191208
- 1929143** 松田 秀岳, 野阪 拓人, 高橋 和人, 内藤 達志, 大藤 和也, 大谷 昌弘, 平松 活志, 中本 安成: 実臨床応用を目指した高感度 HBs 抗原定量法の有用性に関する検討, 第43回日本肝臓学会西部会, 下関, 20191212
- c. その他**
1929144 遠藤 芳徳, 井川 正道: 筋炎のステロイド治療中に発熱、CK上昇を認めた1剖検例, 日本内科学会専門医部会 教育セミナー 北陸支部オープンカンファレンス, 福井, 20190616

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

- 1929145** 大谷 昌弘: 脾疾患診療 Up to Date, 福井県内科臨床懇話会特別講演会, 福井, 20200125

b. 一般講演(口演)

- 1929146** 山村 修: 地域医療を支える医療職の教育～教育拠点としての大学病院の役割, 第16回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会, 教育と経営からの地域連携を考える, 福岡, 20190706
- 1929147** 山口 智久, 井川 正道, 伊藤 和美, 前田 健一郎, 榎本 崇一, 白藤 法道, 上野 亜佐子, 稲井 邦博, 山村 修, 濱野 忠則, 中本 安成: 再発性脳梗塞、肝出血をきたし、剖検で結節性多発動脈炎と診断した一例, 第560回福井県内科臨床懇話会, 福井, 20191016
- 1929148** 松田 秀岳: 上部消化管疾患における酸分泌薬の役割, 第6回消化器病リーダーズフォーラムFUKUI, 福井, 20191129
- 1929149** 高橋 和人, 大藤 和也, 中本 安成: 循環腫瘍細胞の高感度液体生検技術を用いた新たな肝癌バイオマーカーの探索, 第5回G-PLUS, 東京, 20191214
- 1929150** 山田 正仁, 佐々木 宏仁, 上野 亜佐子, 勝木 歩, 山口 智久, 遠藤 芳徳, 榎本 崇一, 白藤 法道, 井川 正道, 山村 修, 濱口 毅, 濱野 忠則: MRI拡散協調画像で両側視床枕に高信号域を呈したプリオン病の1例, プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する報告会, 東京, 20200120
- 1929151** 井川 正道, 畑 郁江, 川谷 正男, 前田 浩幸, 山田 就久, 渡邊 淳, 中本 安成: 臨床診断基準を満たさず遺伝学的検査で診断に至った血管型Ehlers-Danlos症候群の1例, 第40回北陸臨床遺伝研究会, 金沢, 20200223

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)(一般)	がん進化による治療耐性を引き起こす肝がん幹細胞様クローンの同定	中本 安成	平松 活志, 野阪 拓人	2019	6630000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)(一般)	脳内分子動態解析による認知症発症機序の解明と早期診断への応用	岡沢 秀彦	井川 正道, 米田 誠	2019	4550000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(一般)	バイオメタルが誘導するタウオリゴマー形成促進機構の解明	濱野 忠則	白藤 法道	2019	2210000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(一般)	胃発癌におけるオートファジーの機能解析と予防への応用	大谷 昌弘		2019	910000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(一般)	記憶・情動障害を主徴とする辺縁系脳炎型橋本脳症の分子免疫病態の解明	松永 晶子	米田 誠	2019	1170000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	肝臓がんにおける循環腫瘍細胞検出系の確立	大藤 和也		2019	1170000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	肝細胞がん微小環境におけるエイコサノイド関連腫瘍進展機構の解明と新規治療法の研究	野阪 拓人		2019	1560000
国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)研究開発費	肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	獲得免疫反応の賦活化により核内HBV cccDNAを排除する手法の開発	中本 安成		2019	8910000
国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)研究開発費	肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	次世代シーケンス技術を用いたC型肝炎の直接作用型抗ウイルス薬による治療後病態に影響をおよぼす因子に関する研究	榎本 信幸	中本 安成	2019	2000000
国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)研究開発費	肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	C型肝炎ウイルス排除治療による肝硬変患者のアウトカムに関する研究開発	竹原 徹郎	中本 安成	2019	1170000
国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)研究開発費	橋渡し研究戦略的推進プログラム	シーズA血中循環腫瘍細胞のシングルセル解析技術を用いた肝がんリスク診断法の開発	植田 康平	中本 安成	2019	5000000
国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)研究開発費	難治性疾患実用化研究事業	ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウム治療法の開発研究—試薬からの希少疾病治療薬開発の試み—	古賀 靖敏	井川 正道	2019	130000
厚生労働省科学研究費補助金	難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)	「スモンに関する調査研究班」福井県におけるスモン患者の実態調査	小長谷 正明	濱野 忠則	2019	600000
大学間連携事業	北陸地区国立大学学術研究連携支援	遺伝医療学グループ	渡邊 淳	井川 正道	2019	100000
学内競争的資金	ライフサイエンスイノベーションセンター公募採択型研究費	Sky阻害薬がタウ蛋白リン酸化・オリゴマー化に及ぼす影響の検討	濱野 忠則	山口 智久	2019	400000
学内競争的資金	先端医療シーズ	Arterial spin labeling MR imaging for the clinical detection of cerebellar hypoperfusion in patients with spinocerebellar degeneration	井川 正道		2019	300000
学内競争的資金	若手研究支援	CD4陽性キラーT細胞の走化性を誘導する新規肝がん治療の開発	内藤 達志		2019	400000

(B) 奨学寄附金

受入件数	27
受入金額	13050000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
その他の研究集会	主催者	市民公開講座 肝がん撲滅フォーラム2019「肝臓、半端ないって」	20191026	福井

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
アジア太平洋肝臓学会 シングルトピックカンファレンス東京	組織委員(Scientific Committee)	中本 安成
日本医学会	「第30回日本医学会総会2019中部」展示委員会・委員	中本 安成
日本内科学会	評議員	中本 安成
日本内科学会	北陸支部評議員	中本 安成
日本内科学会北陸支部	北陸支部長	中本 安成
日本消化器病学会	理事	中本 安成
日本消化器病学会	財団評議員	中本 安成
日本消化器病学会	北陸支部評議員	中本 安成
日本消化器病学会 社会保険審議委員会	社会保険審議委員会担当理事	中本 安成
日本消化器病学会 専門医制度審議委員会	専門医制度審議委員会副担当理事	中本 安成
日本消化器病学会 ビックデータ・AI検討委員会	ビックデータ・AI検討委員会副担当理事	中本 安成
日本消化器病学会 役員候補者詮衡委員会	役員候補者詮衡委員会副担当理事	中本 安成
第105回日本消化器病学会総会	査読委員	中本 安成
第105回日本消化器病学会総会	プログラム委員	中本 安成
日本肝臓学会	評議員	中本 安成
日本肝臓学会	西部会評議員	中本 安成
日本肝臓学会 市民公開講座企画検討委員会	市民公開講座企画検討委員会委員	中本 安成

業績一覧

日本肝臓学会 生涯教育委員会	生涯教育委員会委員	中本 安成
日本肝臓学会 男女共同参画委員会	男女共同参画委員会委員	中本 安成
日本肝臓学会 評議員選出委員会	評議員選出委員	中本 安成
第23回日本肝臓学会大会	査読委員	中本 安成
日本消化器内視鏡学会	社団評議員	中本 安成
日本消化器内視鏡学会	学術評議員	中本 安成
日本消化器内視鏡学会	北陸支部評議員	中本 安成
日本消化器免疫学会	評議員	中本 安成
日本消化器免疫学会	利益相反・倫理委員会委員	中本 安成
日本カプセル内視鏡学会	代議員	中本 安成
日本肝癌研究会	幹事	中本 安成
日本免疫治療学研究会	理事	中本 安成
日本医療研究開発機構 (AMED)	IRUD臨床専門分科会委員	中本 安成
日本神経学会	代議員	濱野 忠則
日本神経学会東海北陸地方会支部	世話人	濱野 忠則
日本神経治療学会	評議員	濱野 忠則
日本神経感染症学会	評議員	濱野 忠則
日本頭痛学会	代議員	濱野 忠則
日本動脈硬化学会	スタチン不耐診療指針作成委員	濱野 忠則
認定内科学会専門医部会	北陸支部代表/北陸支部役員	濱野 忠則
スモンに関する調査研究班	班員	濱野 忠則
日本栓子検出と治療学会	評議員	山村 修
日本脳神経超音波学会	評議員	山村 修
日本消化器病学会	学会評議員	大谷 昌弘
日本消化器病学会	北陸支部評議員	大谷 昌弘
日本消化器病学会 社会保険審議委員会	社会保険審議委員会委員	大谷 昌弘
日本消化器病学会 新専門医制度対策チーム	新専門医制度対策チーム委員	大谷 昌弘
日本消化器内視鏡学会	学術評議員	大谷 昌弘
日本消化器内視鏡学会	北陸支部評議員	大谷 昌弘
日本神経治療学会	評議員	井川 正道
日本ミトコンドリア学会	評議員	井川 正道
日本人類遺伝学会	評議員	井川 正道
日本消化器病学会	北陸支部評議員	松田 秀岳
日本消化器内視鏡学会	北陸支部評議員	松田 秀岳
北陸門脈圧亢進症研究会	世話人	松田 秀岳
第238回日本内科学会北陸地方会	日本内科学会北陸支部若手奨励賞審査員	白藤 法道
第239回日本内科学会北陸地方会	日本内科学会北陸支部若手奨励賞審査員	榎本 崇一

(C) その他

<受賞>

1929152

Hamano T, Shirafuji N, Yen SH, Yoshida H, Kanaan NM, Hayashi K, Ikawa M, Yamamura O, Fujita Y, Kuriyama M, Nakamoto Y: 2019年度後期優秀論文賞 (医学研究推進室), Rho-kinase ROCK inhibitors reduce oligomeric tau protein, 2019

1929153

山本 有紗, 大谷 昌弘, 並川 正一, 村田 陽介, 赤澤 悠, 野阪 拓人, 高橋 和人, 内藤 達志, 大藤 和也, 松田 秀岳, 平松 活志, 村上 真, 五井 孝憲, 中本 安成: 研修医優秀賞 (後期研修医) (第128回日本消化器病学会北陸支部例会), 内科的治療を行い待機手術へ移行しえた膵管内乳頭粘液性腺癌破裂の一例, 20190609

1929154

木村 剛徳, 内藤 達志, 並川 正一, 山本 有紗, 村田 陽介, 赤澤 悠, 野阪 拓人, 高橋 和人, 大藤 和也, 松田 秀岳, 大谷 昌弘, 平松 活志, 中本 安成: 研修医優秀賞 (初期研修医) (第128回日本消化器病学会北陸支部例会), 2型自己免疫性膵炎と原発性硬化性胆管炎を合併した20歳代潰瘍性大腸炎の1例, 20190609

1929155

久保 陽香, 松田 秀岳, 吉田 祐未, 大谷 昌弘, 平松 活志, 中本 安成, 北野 史浩, 稲井 邦博, 内木 宏延: 北陸支部若手奨励賞 (第238回日本内科学会北陸地方会), Pulmonary tumor thrombotic microangiopathy (PTTM) により急激な経過をたどった胃癌の1剖検例, 20190616

1929156

Endo Y, Hasegawa K, Nomura R, Arishima H, Kikuta K, Yamashita T, Inoue Y, Ueda M, Ando Y, Wilson MR, Hamano T, Nakamoto Y, Naiki H: 第11回学術奨励賞「金賞」 (福井大学医学部同窓会白翁会), Apolipoprotein E and clusterin inhibit the early phase of amyloid-β aggregation in an in vitro model of cerebral amyloid angiopathy, 20191104

<報道>

1929157

井川 正道: “ふくいのドクター相談室” 「慢性虚血性変化」詳しく教えて (福井), 20190418

1929158

山村 修: 脳卒中啓発活動について (福井街角放送), 20190515

1929159

山村 修: 「サルコペニア」を学ぶ (公民館だより みやけ), 20190625

1929160

濱野 忠則: パーキンソン病最新治療知ろう 福井で5日講演会 (福井), 20190925

1929161

濱野 忠則: くも膜下出血治療薬 認知症遅延に効果 (福井), 20200331